

智頭の

作り手たち

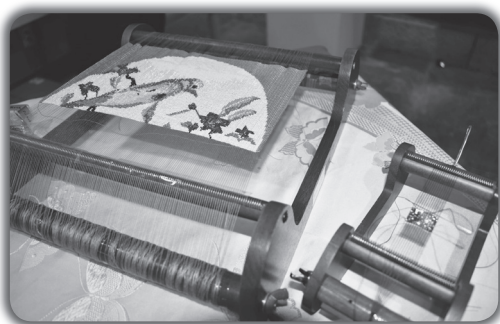
本町には、様々な素晴らしいものを作り上げる人がいます。作る人だからこそ分かる作品の魅力や思いについて紹介します。

今回は、グラスビーズ織り（おまのり）を作っている平尾憲子（のりこ）さん（三明）にお話を伺いました。グラスビーズ織りとは、ビーズを使用した織物。専用の織機を使って、事前に作った図案を参考に、色のついたガラスビーズを布の様に織っていくことで作り上げる。平面的なものばかりではなく、アークセサリーやバッグなど、立体的なものも織っている。



平尾憲子さんと グラスビーズ織り

▲平尾憲子さん（石谷家住宅3号蔵にて）



▲展示中の織機。
制作途中の作品が並ぶ

輝きは人を元気にする
ビーズ織りの魅力について聞くと、「ビーズの輝きが持つ不思議な力です」と回答。「ビーズが細かいので織るのは大変ですが、楽しいから続けられます。完成品の色合いのイメージや輝きを考えて図案を起こし、ビーズ一粒一粒に思いを込めて織り込んでいきます。私は、ビーズの透明感や輝きには、人を元気にする不思議な力があると思っています。その不思議な力の輝きに私はずっと魅せられてきました。それが、紀元前から現在まで続いているビーズの美しさだと思います。」

展示の機会に感謝

展示会で楽しみなことを伺うと、「グラスビーズ織りを初めてご覧になられた方々が、ビーズの輝きに感嘆されたり、ビーズの魅力についておはなしできることや石谷家の方に作っていただいた素敵な招待状をきっかけに、旧知の方や手作りの作品を製作されている方と交流できることが楽しみです」と話されていました。

また、「今回、このような機会を作っていただいた方々や石谷家に感謝しております。」と、感謝の言葉も述べておられました。

